

東京農業大学 短期大学部



入試センター
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
☎03-5477-2226 FAX03-5477-2615

	資料請求	
	願書	パンフ
完成時期	10月上旬	配布中
料金	無料	無料
発送サービス	トップハガキ	<input checked="" type="checkbox"/> ハガキ

- 区
- 地方試験
- センター
- 公募制
- 帰国
- 外国人
- 社会人



2006年度推薦入試

■一般推薦

- 募集人員 生物生産技術学科52 環境緑地学科28 醸造学科32 栄養学科50
- 出願資格 専願 一浪可 評定平均値=3.5以上または英語・生物・化学の中で1科目でも4以上の者 (推薦入学者としての要件)
- 【生物生産技術学科】 次の☑～☒のいずれかの条件を満たす者

☑農業(畜産を含む)または関連産業の後継者になる者
☒生物生産業または関連産業の経営者、指導者、技術者をめざす者 ☑動植物に興味と関心を有し、社会に貢献しようとする者

【環境緑地学科】 次の☑～☒のいずれかの条件を満たす者
☑緑化植物花卉生産・販売業または造園業(設計、施工、管理)の後継者となる者 ☒新たに緑化造園花卉関連産業の経営者をめざす者 ☑緑化造園花卉関連産業に従事しようとする者

【醸造学科】

醸造・食品製造等に対する強い興味と旺盛な学習意欲を有し、醸造業、食品製造業あるいは酒類・食品販売業などに従事しようとする者

【栄養学科】 次の☑☒のいずれかの条件を満たす者
☑食料の生産から消費までの流れの中で、とくに食生活と健康との問題に対応できる専門技術者をめざす者 ☒新しい時代の食生活の担い手となることを熱望する者

●日程 出願11/28～12/9 試験12/18 合格発表12/22

情報入手方法

- ☑ホームページ <http://www.nodai.ac.jp/>
- ☑E-mail nyushi@nodai.ac.jp

オープンキャンパス

●8/6☑・7☒ 10:00～17:00

【内容】 模擬講義、学科別マナビ体験、施設探検、入試対策講座など。

☑学園祭(収穫祭)

●10/28☑～30☒ 10:00～16:00

【内容】 文化学術展、模擬店、進学説明会(入学試験対策講座/募集要項・願書無料配布)など。

※進学説明会は10/29・10/30のみ

学費・奨学金制度

☑初年度納入金(2005年度参考)

1,276,400円～1,309,400円

※学科により異なる。

※前・後期分納可。

☑入学時に利用できる奨学金制度

【特待生】 1年次は一般入試の成績・調査書などによって選抜。授業料の全額を免除する。期間は1年、評価によって継続も可能。2年次は半額を免除。

【奨学生】 入学後、経済的理由で修学が困難な事情が生じた、返還計画が確かな者を対象に、年額50万円を貸与。貸与期間は1年間、返還は年払で期限は15年以内。

- 生物生産技術
- 環境緑地
- 醸造
- 栄養

2006年度一般入試・センター試験利用入試科目・試験日

区分	学科	募集人員	入試科目(配点)	出願期間	試験日	合格発表	手続締切
一般	生物生産技術	☑45 ☒17	英語・国語(総合・表現☑)から1科目(100)、数学☑	☑期1/6～1/30 ☒期 郵2/14～2/24 窓2/27	☑期2/7 ☒期3/4	☑期2/21 ☒期3/10	☑期3/1 ☒期3/17
	環境緑地	☑23 ☒10	A・情報関係基礎・生物☑・化学☑・日本史Bから1科目(日本史Bは環境緑地のみ選択可)(100)				
	醸造	☑28 ☒10					
	栄養	☑60 ☒22					
センター	生物生産技術	前13 後3	英語(筆記のみ)・国語(近代以降の文章)から1(200)、化学☑・生物☑から1(200)	前期1/6～1/20 後期2/14～2/24 窓2/27	-	前期2/21 後期3/10	前期3/1 後期3/17
	環境緑地	前7 後2					
	醸造	前8 後2					
	栄養	前15 後3					

☑期の会場は、札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡・世田谷キャンパス、☒期の会場は世田谷キャンパス

2005年度一般入試結果

学科	方式	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
生物生産技術	☑期	364	356	123	2.9
	☒期	140	130	50	2.6
環境緑地	☑期	258	254	64	4.0
	☒期	100	96	21	4.6
醸造	☑期	321	320	94	3.4
	☒期	121	105	21	5.0
栄養	☑期	476	461	116	4.0
	☒期	185	169	31	5.5

編入学状況

2005年度東京農業大学への編入学状況

学科	志願者数	合格者数
生物生産技術	93	63
環境緑地	40	33
醸造	68	44
栄養	59	33
合計	260	173